

教育学部

前期日程

006

令和8年度入学試験問題

小論文
(社会科教育コース)

注 意 事 項

1. この試験問題は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 受験番号を解答用紙の指定したところに正しく記入すること。
3. 問題用紙と解答用紙とは別になっている。解答用紙は問題（1）と問題（2）で別になっている。
4. 解答は解答用紙の解答欄のマス目に記入すること。欄外に記入した解答は、採点の対象とならない。
5. 数字，句点（。），読点（、），カッコ記号は1文字につき1マスを使用すること。
6. ページの落丁・乱丁及び問題用紙と解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，監督者に申し出ること。
7. 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが，破いたり切り離したりしないこと。
8. 試験終了時，解答用紙は白紙も含めて全て提出すること。
9. この問題用紙と下書用紙は持ち帰ること。

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 1 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題

万博（国際博覧会）とその歴史に関する資料 1 および、1867 年に開催されたパリ万国博覧会に関する資料 2～資料 4、1970 年に開催された大阪万博（日本万国博覧会）に関する資料 5、資料 6 から必要な資料を用いて、次の（1）（2）の問いに答えなさい。なお、資料を根拠として解答用紙に記入する際には、「A は B である（資料 X）。」や「資料 X によれば、A は B である。」のように使用した資料を明示し、下線を引くこと。

- (1) 1867 年のパリ万国博覧会には日本の幕府や藩が参加した。それぞれが参加した意図やねらいを資料に基づいて 400 字以内で論じなさい。
- (2) 1970 年に日本で大阪万博（日本万国博覧会）が開催された意義や成果、課題について、資料に基づいて 400 字以内で論じなさい。

資料 1

わたしたちが普通「万博」と言っている「国際博覧会」は、国際博覧会条約という国際条約に基づいて、正式に博覧会国際事務局（BIE）に登録又は認定されたものなのです。

■万博とは

「国際博覧会条約」によれば、国際博覧会とは、「二以上の国が参加した、公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すものをいう」とあります。（略）

■万博の起源

紀元前のエジプトやペルシャでは国王即位祝典行事として芸術品や衣類が民衆に披露されました。また、古代ローマでは辺境征服の後で戦利品や奴隷が民衆に誇示されたことが記録されています。これが原始的な形態の博覧会だという説があります。この説を取ると、博覧会はオリンピックより古い歴史を持つことになるかもしれません。

その後特にヨーロッパでは人口の増加と都市への集中がおこり、商業や交通が発達します。そして生まれたのが「市（いち）」ですが、市の中には物を売ることだけが目的では

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 2 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 1 (続き)

なく、技術や物産の展示自体を目的としたものが現れました。これも広い意味での博覧会の原型と言えるでしょう。(略)

近代博覧会の原型は、1475年にフランスのルイ 11 世がロンドンで開催した「フランス物産展」だと言われています。その後パリやロンドンで度々開かれた美術展なども博覧会の一つと言えるでしょう。

■国際博覧会の歴史

そして、1851年、ロンドンのハイパークで開催された「第 1 回ロンドン万国博覧会」で国際博覧会の歴史が幕を開けます。この万博は通称「大博覧会 The Great Exhibition」とも呼ばれ、25 カ国が参加しました。当時はビクトリア女王の時代、女王の夫君アルバート公の活躍で開催にこぎつけ、その結果は大変な評判になりました。(略)

第一次世界大戦後には、現代の万博のように「テーマ」を持った万博が始まります。また、1928年には国際博覧会条約が署名され、「国際博覧会」はこの条約を基準に秩序をもって開催されることになりました。

第二次世界大戦の勃発で 18 年間の中断があり、国際博覧会が再開されたのは、1958年ブリュッセル万博でした。その後 2000 年に行われたハノーバー博まで、国際博覧会は世界各地で開催されてきました。(略)

昔は時の支配者たちが財宝や戦利品を展示することによって自らの権勢を誇示する手段であった博覧会が、今では平和の象徴として、そして世界各国の人たちの交流の場となりました。また、国際博覧会は、人類が築き上げてきたその時代の技術・芸術の頂点を世界に向かって発信する機会を提供してきています。例えば、アール・ヌーボーやジャポネスクといった建築・美術に関する新しい流行を世界に広げたのも万博がきっかけだったと言えるでしょう。こうした新しい意味を持ったからこそ、国際博覧会は現在まで連綿と続いてきたのではないのでしょうか。

交通手段や IT 技術の発達によって地球は狭くなったと言われています。そうした中で、「万博の意義」というものも問われるようになってきました。毎回万博が計画されるたびに「費用対効果」の問題点も指摘されます。(略)

前 期 日 程

小論文
(社会科教育コース)

問題用紙 8 頁中 3 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 2

■パリ万国博覧会への参加

幕府は 1867 (慶応 3) 年にパリで開催された万国博覧会に参加して日本の産品を紹介し、日本を世界にアピールしました。また、幕府や各藩は有能な人物を次々に海外へ派遣し、西洋の知識や技術を得ようと努め、それは日本の様々な分野における発展の礎となりました。(略)

日本が初めて国際的な博覧会に参加したのは、1867 (慶応 3) 年のパリ万国博覧会です。徳川慶喜は自身の弟昭武 (当時 14 歳) を名代としてパリ万博に派遣しました。慶喜には、フランス派遣の機会に昭武に学問をはじめ様々なことを習熟させたいとの思いがありました。下記は、昭武一行がフランス皇帝に差し出した徳川慶喜の国書の原案です。昭武の紹介とともに、幕臣数人の留学についても、フランス皇帝の配慮を要望しています。

……殿下^{なるとびに}并 貴国へ対し友睦懇親之情厚きを表せん為め我弟徳川民部大輔を掄選し其都府へ差遣せり乍去右民部大輔義ハ少年ニていま諸事に慣熟せされば幸に殿下之宥恕あらんを望む且ツ同人諸学科修業之為め我臣下之諸子弟等数人を追々貴国都府へ留学さすへき積ニ付右生徒之事ニ付ては殿下之配慮あられんを望む将貴国民および殿下之幸福を祈る…… 1)

(略)

幕府は諸藩に対し、パリ万国博覧会への参加を呼びかけ、佐賀藩と薩摩藩が参加を表明しました。1866 年 3 月 26 日 (慶応 2 年 2 月 10 日)、薩摩藩一行はイギリス汽船で鹿児島を出発し、香港、サイゴン、シンガポール、アデン、スエズ、アレクサンドリアを経て、翌年 2 月 6 日 (慶応 3 年 1 月 2 日) にマルセイユに到着しました。

薩摩藩の一行は、フランス到着後、薩摩の代表と名乗らず、「薩州侯兼琉球王の使節」と称しました。薩摩藩は博覧会会場において、一区画を借り受けると、そこに琉球王国の名を標示し、さらに「丸に十字」(島津家の家紋)の旗章を掲げ、開会日にも琉球王国の使節として式典に参列しました。

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 4 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 2 (続き)

(略) 幕府の万博参加のねらいの一つには、「幕府の主権」を確立し、それを諸外国に知らせることがありました。そのため、薩摩による「琉球王国」「薩摩政府」という偽称は許容できない問題でした。西洋諸国の間に、日本には主権国家が複数あるとの誤解を与え、幕府の立場に疑問を持つ者も現れたため、幕府の使節団と薩摩藩との間に摩擦が起こり、関係者はその調整に苦勞しました。

(注) 1) 1867 年 1 月 27 日 (慶応 2 年 12 月 22 日) フランス皇帝宛ての徳川慶喜の国書案

外務省 HP「外務省外交史料館特別展示 特別展示『幕末へのいざない』」より作成
(一部改変)

資料 3

■パリ万国博覧会

会場の形は巨大な楕円形をしていました。敷地は約 16 万 5,800 m²で遊歩道が整備され、メイン会場の外周には 100 軒を超える各国の展示会場、売店、遊園地、レストランなどが立ち並んでいました。各国の展示スペースはフランスが大部分を占め、イギリスが 6 分の 1、プロイセン・ベルギー・オーストリアが 16 分の 1、ロシア・アメリカ・イタリア・オランダ・スイスが 32 分の 1、日本・シャム (タイ)・清国は狭い場所だったようです。

前 期 日 程

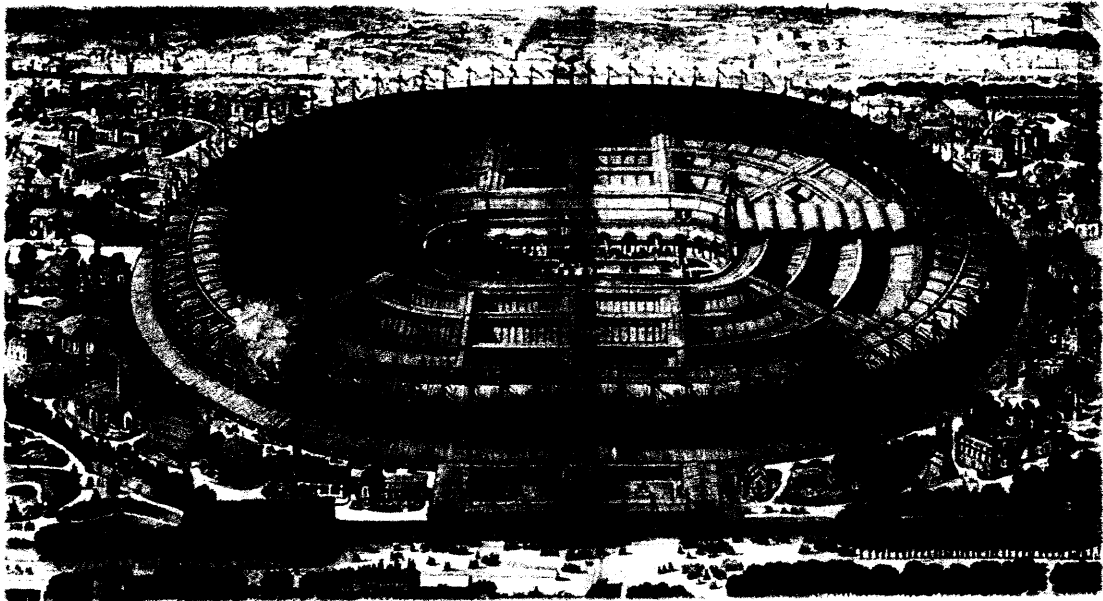
小論文

(社会科教育コース)

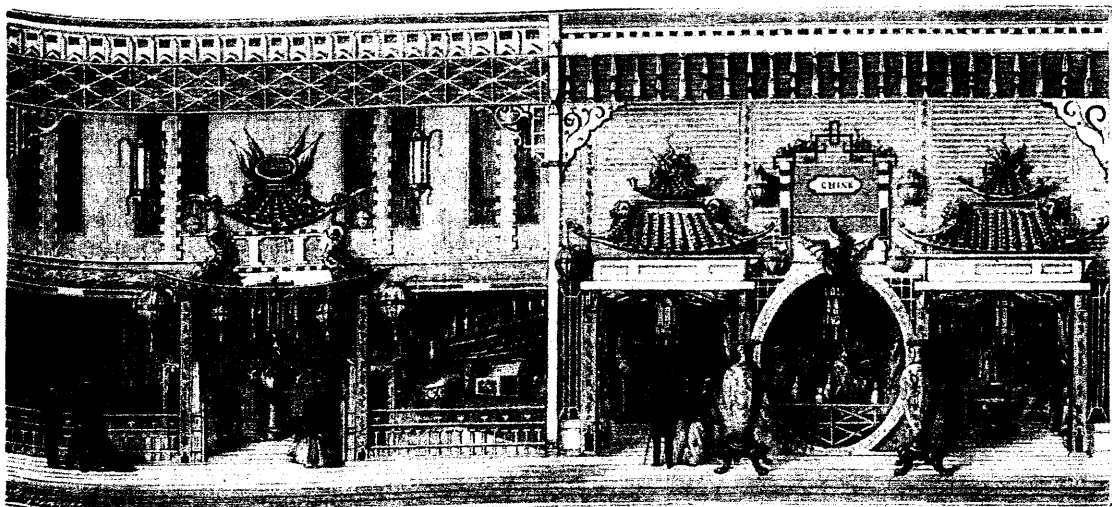
問題用紙 8 頁中 5 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 3 (続き)



パリ万国博覧会会場の絵図



日本 (左) と清国の展示場

外務省 HP「外務省外交史料館特別展示『幕末へのいざない』」, BnF Gallica, *Le Monde illustré*, le 12 octobre, 1867 より作成 (一部改変)

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 6 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 4

■ 「日本」側からの参加と出品

(1) 幕府

- ・準備に 2 年ほどかける
- ・日本の特産品の数々を約 4 万 7,200 両を使って集める
- ・主な出品物：漆器，陶器，武具，衣服，金工品，鋳物，日本画，和紙，材木，昆虫類
- ・幕府の呼びかけに江戸商人みずほ屋卯三郎が応じ，4 万 2,500 両ほどを使って 157 箱の品々を用意
- ・みずほ屋の出品物：日本の武具，酒，醤油，茶，人形，屏風，農具，提灯，扇子，鏡，化粧道具，釣道具，絵本，和紙，美術工芸品（浮世絵など）

(2) 佐賀藩

- ・オランダのドルトレヒトにおいて建艦（「日進丸」）の用向きがあり，参加を決定
- ・出品物：陶器（有田焼），もっとも珍重されたのは徳利

(3) 薩摩藩

- ・単に自国領の物品を宣伝したり，商ったりするために参加したわけではない
本当のねらいは，ベルギー貴族のモンブラン伯爵（1833-94 年）と契約した「日本＝ベルギー会社」設立協定にあった
- ・出品物は，自藩と琉球の産物
- ・薩摩からの出品物：漆器類（重箱，料紙箱，菓子盆，盃など）や材木（杉，松，梅，桜，楠など），農具（鋤，鍬，鎌など），茶器，竹細工，反物，樟腦しょうのうなど
- ・琉球からの出品物：特産の白・黒砂糖，反物（細上布，紺地木綿），篠細工，泡盛酒など

國雄行『博覧会と明治の日本』（吉川弘文館，2010 年），宮永孝『「プリンス・トクガワ」の欧州紀行』（山川出版社，2025 年）より作成（一部改変）

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 7 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 5

■大阪万博（1970 年日本万国博覧会）の概要

(1) 会期：

1970 年 3 月 15 日～9 月 13 日（183 日間）

(2) テーマ：

人類の進歩と調和（Progress and Harmony for Mankind）

(3) 参加

海外：76 カ国，4 国際機関，1 政庁（香港），アメリカ 3 州，カナダ 3 州，
アメリカ 2 都市，ドイツ 1 都市，2 企業

国内：32 団体，展示館 32 館（日本政府，日本万国博覧会地方公共団体出展準備委
員会，2 公共企業体，28 民間企業・団体）

(4) 入場料

大人（23 歳以上）：800 円

青年（15～22 歳）：600 円

小人（4～14 歳）：400 円

※当時の平均月収は 5 万円

万博記念公園 HP「大阪万博」より作成（一部改変）

資料 6

■ケタ外れのスケールに

念願だった万博を招致しようとの気運が高まりを見せはじめたのは，東京オリンピックを翌年に控えた 1963 年のことでした。敗戦から 20 年の節目を目前にして，オリンピックと万博を立てつづけに成功させれば，日本の戦後復興を世界に示せると考えたのです。めざましい経済成長を遂げていたわが国にとって，万博は国際社会に「東洋の奇跡」をプレゼンテーションする絶好の機会であり，このうえなく魅力的な命題と映ったわけです。

会場選定のゴタゴタなど紆余曲折あったものの，2 年後の 1965 年には BIE（※博覧会国際事務局のこと）総会で開催が承認されます。アジア初，しかもカテゴリーは最上位・最大規模の「第一種一般博覧会」です。

前 期 日 程
小論文 (社会科教育コース)
問題用紙 8 頁中 8 頁目

令和 8 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

資料 6 (続き)

国家の威信をかけた大勝負ですから、すべてにおいて扱いが別格でした。主催者組織として設立された「日本万国博覧会協会」が直接執行した予算だけで 891 億円 (建設費 522 億 + 運営費 369 億) で、関連する公共事業が 6,500 億円。会期中の消費総額は 3,300 億円 (会場内 480 億 + 会場外 2,120 億等) にのぼり、生産誘発額は 1 兆 5,000 億円におよびました。

330 ヘクタールの会場には 1 日平均で 35 万人もの観客が詰めかけ、183 日間の会期中の入場者数は 6,421 万人に達します。当時の人口は 1 億人をわずかに超える程度でしたから、単純計算でいえば日本人の 6 割が足を運んだこととなります。

日本全土が万博一色に染まり、一世一代のイベントを一目見ようと全国から人が押し寄せたからです。最高記録の 9 月 5 日 (土) には入場者が 83 万 5 千人を超え、会場全体が満員電車並みの状況になって身動きがとれず、取り残された数千人が野宿する羽目に陥ります。「民族大移動」と形容されたこの異様な光景は、戦後日本を代表する歴史的エポックのひとつになりました。

迷子 4 万 8 千人、落とし物 5 万 4 千件、救急車出動 1 万 1 千回、ゴミ 2 万トン……。東海道新幹線の利用者数：対前年比 34% 増、近畿地区のホテル客室数：対前半年比 58% 増、カラーフィルムの出荷数：対前年比 59% 増……。データを並べただけで、社会にどれほど大きな影響をおよぼしたかがわかります。

企業パビリオンが投入した予算は数十億円にのぼると言われました。当時の大卒初任給は 4 万円、封書郵便 15 円、タクシー初乗り 130 円です。いまはそれぞれ 20 万円、82 円、730 円で、およそ 5~6 倍になっていますから、出展企業は現在の価格にして 200~300 億円もの資金を投下したことになります。最新設備を備えた大型工場が建設できる額を、たかだか 1 パビリオンにつぎ込んだのです。

一過性のイベントにこれほどの大盤振る舞いをするなど現在では考えられませんし、当時も例のないことだったと思いますが、それがとうぜんという空気になっていたのでしょう。「お国のため」という意識があったにせよ、大阪万博自体にそれだけの魅力があったということです。

平野暁臣『万博の歴史』(小学館、2016 年) より作成 (一部改変)